

バイデート™ L 粒剤

殺虫・殺センチュウ剤

殺虫剤分類 1A

有効成分:オキサミル…0.80% 人畜毒性:劇物

ネグサレ・ネコブ・シストセンチュウに有効!



ネコブセンチュウ



ネグサレセンチュウ



ジャガイモシストセンチュウ

効果安定のポイント▶

▶ 適度な
土壌水分

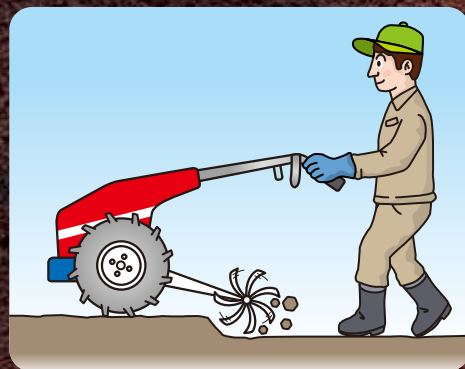


▶ 処理後すぐに
植付・播種可能!

ガス抜き作業が不要です

▶ 処理時に
よく混和

ダイズシストセンチュウ、
ジャガイモシロシストセン
チュウにも登録があります



- きゅうり、だいこん、ばれいしょではセンチュウとアブラムシ類との同時防除が可能です
- アブラムシ類、ミナミキイロアザミウマにもポット処理で使えます

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
バイデートはコルテバ・アグリサイエンスならびに関連会社の商標です。



三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社

適用害虫の範囲と使用方法

2023年8月23日現在

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	オキサミルを含む農薬の総使用回数	
ばれいしょ	ジャガイモシストセンチュウ ジャガイモシロシストセンチュウ	30kg/10a	植付前	1回	全面土壌混和	1回	
	ネグサレセンチュウ	20kg/10a			植溝処理土壌混和		
	アブラムシ類	1.5~2.5g/株	育苗期		株元処理		
ピーマン	ネコブセンチュウ	50kg/10a	定植前		全面土壌混和	2回以内 育苗期の 株元処理は 1回以内、 定植前の 土壌混和は 1回以内	
	メロン(地床)	1~2.5g/株	育苗期		株元処理		
メロン(揚床)	1g/株						
メロン	ネコブセンチュウ	40~50kg/10a	定植前		全面土壌混和		
きゅうり	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	25~50kg/10a	は種前 又は定植前		全面土壌混和		
	アブラムシ類		定植前				
	ミナミキイロアザミウマ	1~2.5g/株	育苗期		株元処理		
すいか	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	25~35kg/10a	は種前 又は定植前	全面土壌混和			
	ミナミキイロアザミウマ	1~2.5g/株	育苗期	株元処理			
	アブラムシ類	1.5~2.5g/株					
にがうり	ネコブセンチュウ	40kg/10a	定植前	1回	全面土壌混和		
レタス	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	40~50kg/10a	定植前				
リーフレタス		40kg/10a	定植前但し、 収穫75日前まで				
トマト ミニトマト	ネコブセンチュウ アブラムシ類	25~50kg/10a	定植前				
だいこん			ネグサレセンチュウ			20~50kg/10a	は種前
にんにく	イモグサレセンチュウ	30~50kg/10a	植付前			1回	全面土壌混和
にんじん	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	20~50kg/10a	は種前				
ごぼう	20~37kg/10a						
もりあざみ	キタネグサレセンチュウ	40~50kg/10a	植付前 (挿苗前)				
かんしょ	ネコブセンチュウ	30~40kg/10a					
やまのいも		40~50kg/10a	植付前				
あずき	ダイズシストセンチュウ	6kg/10a	は種前 又は定植前	作条土壌混和			
		30kg/10a		全面土壌混和			
だいず	ダイズシストセンチュウ	6kg/10a	は種前 又は定植前	作条土壌混和			
		30kg/10a	は種前	全面土壌混和			
えだまめ	ダイズシストセンチュウ	6kg/10a	は種前 又は定植前	作条土壌混和			
		30kg/10a	は種前	全面土壌混和			
たばこ	ネコブセンチュウ ネグサレセンチュウ	37kg/10a	定植前	作条土壌混和			

使用上の注意事項

- 石灰など、アルカリ性肥料との同時施用はさけてください。
- 水源池、飲料用水、養魚池、養魚田等に本剤が飛散流入しないように十分注意してください。
- ばれいしょの全面土壌混和に使用する場合は次の事項に注意してください。
 - ①圃場全面に均一に散布し、20~25cmの深さに土壌と十分混和してください。散布や混和が不均一な場合には薬効不足や初期生育の遅延などの被害を生じることがありますので注意してください。
 - ②一時に広範囲に使用する場合には散布中粉末を吸い込んだり、皮膚についたりしないため、散布機は飛散が少なく、均一に散布できる乗用トラクター装着粒剤施用機(単純な重力落下方式)を用いてください。手播、人力散粒機、乗用型以外の動力散粒機などによる散粒は行わないでください。
- ピーマン、メロン、きゅうり及びすいかの育苗鉢に使用する場合、次の事項に注意してください。
 - ①本剤が葉に付着しないように育苗鉢の土壌表面に均一に散布してください。
 - ②表土が乾燥している場合は、効力が劣ることがあるので、処理後軽く散水してください。
 - ③育苗初期には被害を生じるおそれがあるので、所定範囲の低用量で処理してください。
- 本剤をセンチュウ防除に使用する場合、各適用作物の使用時期に応じて植付直前、は種直前又は定植直前に処理することをおすすめします。さらに散布ムラや不均一な土壌混和は薬効不足や被害を生じることがありますので、作物の根のまわりに均等に分布するよう土壌とよく混和してください。
- 本剤を使用した大根のつまみ菜、まびき菜は食用に供さないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにしてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることをおすすめします。

安全使用上の注意事項

- 医薬用外劇物。取扱いには十分に注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
- 動物実験では、本剤による中毒の治療法として硫酸アトロピン製剤の投与は有効ですがPAM製剤の投与は無効であると報告されています。
- 本剤は皮膚に対して刺激性がありますので、皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。
- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。また粉末を吸い込んだり浴びたりしないよう注意し、作業後は身体を洗い流し、うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 過労時には散布作業に従事しないでください。また同一人が長時間継続して散布作業を行わないでください。
- 散布にあたっては子供や散布に関係のない者などが作業現場に近づかないようにしてください。
- 使用後の空袋や空容器は圃場などに放置せず、必ず安全な場所に処理してください。
- 本剤は毒性が強いので、取扱いには特に注意して危害防止に努め、決められた使用条件を厳守し、また絶対に所定の適用以外に使用されることのないよう管理してください。
- 直射日光を避け、鍵のかかるなるべく低温で乾燥した場所に密封して保管してください。

*本製品は農業用殺虫剤であり、製品ラベルの記載内容以外には使用しないでください。
*本印刷物は2023年8月現在の資料、情報、データ等に基づいて作成していますが、記載データ及び評価はあくまでも測定値の代表例であり、全ての事例にあてはまるものではありません。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空袋や空容器は圃場に放置せず、適切に処理してください。
- 防除日誌を記載しましょう。

取り扱い



三井化学クロップ&ライフ
ソリューション株式会社
東京都中央区日本橋1-19-1日本橋ダイヤビルディング
ホームページ <https://www.mc-croplifesolutions.com>

VDT1G010